

議事

(1) 第4次菊川市男女共同参画プラン令和4年度進捗状況について 資料1-1、1-2、1-3を事務局説明

●地区センターへの掲示物について

【委員】もし差支えつかえがなければ、どの地区センターで掲示を行ったか、お教えいただくと、みなさんも「自分たちの近くの地区センターで行われたのか」や「隣の地区センターしか掲示されてなかったのか」というのがわかるかと思います。

【事務局】

こちらの地区センターにつきまして、時期はずれてしまったのですが、アンコンシャスバイアスの掲示は、市内すべての地区センターで行いました。

●評価に事業実施に伴う効果がわかるようにするのはどうか。

【委員】新人なのに早速の意見で大変恐縮なのですが、こういった全体的なところでちょっと意見を述べさせていただきたいと思います。全体的に評価は、「実施したか」「実施しないか」という評価基準だとは思いますが、例えば、この評価が、実施してから男女共同参画プランに対して、どういう効果があったかとか、市民の皆さんにとってどのような良いことがあったかということが、見えてくるとよいのかと思いました。おそらく、私も仕事をしていく中でよくあることですがけれども、やること自体が目標になってしまい、その先のビジョンやミッションを見失いがちになってしまうことが多々あると思います。それがどういう効果があるかということがわかってくると、魅力のある施策になってくるのではないかなと個人的に感じました。内容としては、行政に関わることをたくさんされていて、市役所の人たちは、大変じゃないかなというのを感じました。以上です。

【事務局】ありがとうございます。効果が具体的にわかると市民の方に非常に効果があり、わかりやすいというご意見ですね。

【委員】そうです。例えば、資料1-2の事業進捗状況の表でしたら、「令和5年度に向けた見直し」の右側に、もう一言を加えるような感じです。例えばID1でしたら、「園長会にて男女共同参画プランについて周知した」とありますが、「周知すると幼児や園に何がよいことあるか」のようなところが具体的にわかればよいと思います。その一つがあると園長先生もプランに合わせてどういうことをしたらよいかが見えてくるのではないかと思います。今の進捗状況だと、実施したから「○」で終わりになってしまいます。園の先生は大変お忙しいので、意識啓発が難しいと思いますが、そのようなことが見えてくれば、園の先生にとってもよいかと思います。子ども向けの事業や市民の意識醸成は、1年2年で成果が出るようなものではないと思います。10年20年かけてやっていくことだと思うので、非常に難しいところではありますが、何かそういうところがあつたらよいと思います。

【事務局】

資料1-2につきまして、具体的な個別事業をやりましたという報告になっていまして、資料1-3が指標の進捗状況になっています。基本目標1のところのID1～ID14の事業を実施することで、資料1-3の基本施策1の成果指標と活動指標に数値が現れるという構成です。そのアンケート調査の数字を上げるために、このID1～ID14の事業を実施しているといった構成で実施しているのですが、このように数値で示す

より、言葉で示した方がわかりやすいということですか。

【委員】基本施策1の成果指標「男は仕事、女は家庭」という考えについて「反対である」「どちらかといえば反対である」と答える人の合計の割合がプラン策定時 57.4%ですが、これが100%になったらどのような未来になるか、また活動指標「男女共同参画に関する広報・HP等への年間掲載回数」も15回達成できたら、どんないいことがあるか、そのようなことがわかるような指標進捗状況になるとわかりやすいと思いました。

【事務局】男女共同参画に関する取り組みというのは、基本的に地域支援課が所管していますが、地域支援課だけ頑張れば成果が上がるものでもありません。実際に市役所の様々な担当課がやっている事業です。担当課では自分たちが担当する業務の中で、男女共同参画に関する事について意識しながら業務や施策を進めるといってお願いをしているところがございます。確かに直接やったことで数字としてアンケート結果が伸びるなど、すぐに結果に繋がればよいですが、なかなかそういうものでもないです。庁内の中でもそういった意見をいただいております。中でもやはり男女共同参画や性の多様性のことについては、一人ひとりの心の中の問題が比重を持っているかと思っております。なかなか数値として、見えにくい分野です。そういったことにめげずに、市としてやることはやって、そういった取り組みに合った形として数字になっているということを中心に管理しながら、新たにどんなことができるのかということについて地域支援課と各課の協議の中で、検討していきたいなと思っております。これをやれば絶対数値が上がるという画期的な方法があればよいのですが、担当も迷いながらやっております。こんなこともやってみてほしいなどのご意見をいただければと思います。よろしく申し上げます。

【委員】

先ほどの委員が言っていることはもっともだと思います。これだけ見るとわからないかと思っております。男女共同参画プランの大きな目標があって、それに対してこういう取り組みをやったら、その目標に近づき、そして、具体的にどんなことをやったらよいかという具体的施策があります。例えば、幼少期における意識啓発というようなものが目的で、これをやったら、繋がって最終的には「誰もが多様性を認め合い、自分らしく輝くまち菊川」に繋がっていくって考えると思っておりますが、これだけみると少し分かりにくいかなと思っております。

【事務局】

ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。

【アドバイザー】

成果指標の出し方は、このような形でしかないのかなと思っております。様々な担当課とお話をするときによくこういう事例や声があったということをお話していただく機会や、何かそのような現場の声を共有することで、モチベーションが上がっていくと思っております。やはり数字ではないかと思っております。子どもたちからこのような声が出たという言葉が、学校教育課を動かしたり他の課を動かしたりすることにつながると思うので、数字になりにくく心の中のことでは難しいですけど、豊島さんがおっしゃっているような現場の声を共有していただければ、より良くなっていくかなと思っております。

【事務局】

昨年度、様々な担当課とヒアリングをさせていただく機会をいただきました。審議会の女性委員を増やしていくための話でもあったのですが、当市はどちらかというと協力的で皆さん前向きにとらえた中で、自分の課の業務をどうしたらいいのかという形で考える方が比較的多いかと印象を受けています。まず自分たちの中に「男女共同参画」を飲み込んでくれた上で、何ができるのか、これはできないと検討いただいております。その

ような中でできることできちんとやっていきたいと思います。

先ほどもありましたように現場の声も、いいこともあれば、悪いこともあります。そのようなこともきちんとと言えるような関係を築いていたいと思っております。実際、以前絵本の読み聞かせを職員が訪問した時の実施後アンケートで、読み方についての厳しいコメントをいただいたことがありました。そのような現場から見た厳しい意見をぜひ吸い上げ、その結果をきちんと伝えられるような関係を作っていければいいなと思いません。貴重な意見ありがとうございました。

(2) 令和5年度男女共同参画事業について 資料2、別紙1、別紙2

●女性のキャリアアップを望まない理由について

【委員】

女性の活躍推進について、キャリアアップを望まない理由について、前回やその前からもそうですが、管理職になりたい女性ばかりではないのが現実です。地域の町内会の役員にも出たくないという声も聞きます。いくら女性を増やしたい、伸ばそうと思って活動していても、なかなか増えないため、なぜ増えないのかを掘り下げていく必要があると思います。今回のアンケートの中にキャリアアップを望まない理由についての設問を設けたことはいいことだと思いました。このアンケートだけで本当の理由がわかるかどうかは、本当に一人一人の話を聞かないとわからないかなとも思います。いろいろな考えを持つ人がいて、いろいろな家庭での立場があって、男の人も女の人もみんな違います。市の職員の考え方については、このアンケートでわかると思います。このことについては、長く考えていることであり、私だったらどうかなと考えたとき、キャリアアップを望まないかなと思います。なぜと考えたときに、家庭や他のところ、子どものところに長くいて、その上で働きたいと思うからです。キャリアアップをしたら、そのバランスが取れなくなってしまうと思います。このように一人一人の意見を聞くことが大切です。意見交換をされたということがあったので、もしかして聞かれたのかなと思いますが、そういうことを少しずつ増やしていくということがよいと思いました。

【アドバイザー】

実際、市の係長級における女性職員の割合がものすごく伸びていますね。18.5%プラン作成時で、令和4年度が28.7%になり伸びていますね。それは実感としてありますか。

【事務局】

今年度係長に上がった女性職員が多かったです。

【アドバイザー】

そこは変わりつつあるということですね。これだけ変わるとはすごいですね。

【事務局】

今日総務課の人事を担当する係と打ち合わせをさせてもらったところで、そのとき、人事の担当が、ある程度の経験や実績が業績に基づいて、係長職に昇格させていると言っていました。まずその前の段階で主任主査という段階1段階あります。最初はその主任主査に女性を上げることにハードルがありました。それをここ数年ずっと上げてきて結局係長級としての主任主査になった職員が今年度、だんだん係長に上がるようになってきました。

【アドバイザー】

女性も係長をやるって思ったのでしょうか。

【事務局】

そうだと思います。個人と人事の担当が話をしていますが、どのようなことを話してい

るかまではわからないのですが、何かしらのアクションを人事として行い、結果として女性の係長級が増えているという状況です。

【アドバイザー】

素晴らしいと思います。3割になると変わるというので、もう少しですね。

【事務局】

頑張っていきたいと思います。まだ部長職や課長職の女性人数のところまで、人数が増えてくるまでには、もう少し時間がかかるのですが、すでに実績や経験年数で管理職になっている方もいますので、その下の世代の皆さんにもぜひ頑張ってもらいたいです。職員の採用年度によっても、女性が多い、少ないといった波があります。最近の新規採用職員は男性と女性が半々ぐらいの状況ですが、約20年前に採用されたときは、やはり男性の方が全体的に多かった印象はあります。最近入庁した方の役職が上がっていったときに影響が出てくるかなと思います。女性に限らず男性にとっても誰もが働きやすい職場であるべきだと思いますので、総務課と協力していきたいです。

【アドバイザー】

中小企業の話の話を聞いていると、今は男性も管理職になりたくないという声を聴きます。「責任を負いたくない」や「男女ではない」こともあります。

【委員】

このアンケートでは様々な世代を対象としているので、もしかしたら、若い世代は男女に関わらずキャリアアップを望まないという結果になるかもしれないですね。

【会長】

まとめ役が必要ですが、皆さんが個々にできればそれもよいと思います。リーダーの形も変わってくるかもしれません。御指名をさせていただきます。商工会の女性の昇給・昇格について、何か感じられることはありますか。

【委員】

商工会は、中小企業の方々への支援をしています。課長のような役職はありませんが、一番上は、指導や支援をする「経営指導員」という方がいます。私が商工会に入ってから10年以上たつのですが、私が入ったときは、経営指導員は圧倒的に男性が多かったです。最初のころは、「男性になるもの」というイメージがありました。最近、女性の経営指導員も増えてきております。知識や経験を得ることについて、男女差がなく研修を受けたりしますので、進んできていると肌で感じています。

●指標の分母について

【委員】

男女共同参画社会づくり宣言事業所の数が指標にあります。分母はいくつか気になりました。様々なものに分母が抜けていますので、女性は何名いて、何名なのか。割合だけでなく、対象者も知りたいと思います。

●アンケートの性別欄について

【委員】

初めて参加しましたので、アンケートを見ながら、「LGBT」はわかりますが、「SOGI」はなんだろうとか関心事にはなりません。実際、市役所で定期的にやっていた以前調べたときに、例えば最初のところで「男性」「女性」だけでなく「回答してない」を追記して、配慮している部分があると思います。前回の結果で「回答しない」と選

択した方はどれくらいいましたか。

【事務局】

前は3年前実施したときは、「男性」「女性」の2択でした。他市町を参考に今年度初めてこのような形で実施します。市民アンケートでも「男性」「女性」「その他」という形で取らせてもらいましたが、「その他」に数人付けた方がいます。

【委員】集計上、男性や女性の区分が必要な場合があるかどうかですね。

【事務局】

統計上「男性」「女性」の二つで比較したいという場合は「その他」と入れないで2つの選択肢にするという考えがあります。回答してほしい性別は何なのかということきちんとしてあげないといけないと県の講座等と言われます。「自認している性を教えてください」や「戸籍上の姓を教えてください」などのように、何を書くのかを明示するとよいと思います。また、アンケートは男性・女性の違いなどを比較する機会が多いです。この職員向けの調査も、男性・女性での違いを比較したいので性別欄を設けています。一方で講座の申込書のように簡易的なものについては性別欄がなくても事務的に問題がないものについては基本的には性別を取らないという方向で進めております。

●回答しやすいアンケート様式について

【委員】

私も様々なアンケートを答えているときに、いつもあって嬉しいなって思うが、「何分くらいかかるのか」の明記です。もし明記できるのであれば提示していただいた方がよいと思います。認定こども園の先生や幼稚園の先生は、30分もかかるものなら、やめておこうとその段階で思うと思います。5分くらいならまだいいかなと思います。また、途中保存ができるシステムがあるなら、自分のすきま時間を見て、それを効率的に回答して下さるなと思います。正直自分も答えているとき、結構あったのでお伝えしていきたいと思います。あとこの中の回答欄のところ、このとおりにいくと四角にレ点をするのか、丸をつけるのか、いろいろな回答があります。列と行を逆にすると他の設問とあってくるところもあります。そのような修正をすることにより、他の設問と揃ってくるのかと思います。パターンもなるべくそろえてあげる方がいいかと思います。答えやすくなるかと思います。私も様々なアンケートをすぐにあたります。そのあたり配慮することができれば、回答率アップにつながると思います。

【事務局】

問1と問15が数字と四角にチェックするところがうということですね。

【委員】

もし反対になれば、他の問14とパターンが似てくるかと思います。私もこれ全部を正しく読んでないかもしれないので、ぱっと見た感じそのように感じました。

【事務局】

依頼する前に、事務局で一度アンケートを回答してみます。全体的な流れなどを確認します。また何分くらいかかったかも測ってみて、アンケート用紙の最初のところに「このアンケート何分かかります」と表示していきたいと思います。

【会長】

ネットのアンケートも最近は時間がかかっています。何分くらい時間かかりますと。チェックしていただけなので早くできそうな感じはします。

●絵本の読み聞かせ事業について

【アドバイザー】

専門家なので、読み語りについて、読み語りは読む側もメリットがありますので、市の職員は、あまり上手じゃないと言われましたが、やはりそこを自分で声に出すことは大事です。ぜひ関わり続けていただきたいと思います。また、もし他の担当課の方でも興味のある方がいましたら、声に出すことはとてもよいことなので、皆さんの気持ちを変えていく効果もあると思うので、ぜひそのような展開を考えていただければと思います。以上です。

●職員向けアンケートの実施頻度について

【委員】

アンケートについてです。3年に1度の実施ということですが、1年で男女共同参画事業の取り組みの実施・見直しを実施していますが、アンケートが3年に1度の実施だともったいないと思います。市民向けのアンケートを毎年実施するのは、回答者の市民が大変になってしまうと思うのですが、市役所職員であれば、毎年実施する方が、よい材料になるかと思います。職員が大変になるかもしれませんが、結局結構スピードが求められる事業も中にはあると思うので、見直しの意味を含めて、そのような意見をさせていただきます。

【事務局】

この他のアンケート以外に市民アンケート5年に1回と、事業所アンケートが3年に1回実施しています。市職員向けアンケートを3年に1回実施しています。実施頻度につきましては、職員の業務の合間をお願いすることとなりますので、検討していきたいと思います。